



平成25年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メディアクリエイト

コード番号 2451 URL <http://www.m-create.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 博彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長

(氏名) 栗原 浩一

TEL 055-929-8560

四半期報告書提出予定日 平成24年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第1四半期の業績(平成24年6月1日～平成24年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第1四半期	841	△7.3	14	61.5	10	92.5	8	—
24年5月期第1四半期	908	1.3	8	—	5	—	0	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第1四半期	1.68	—
24年5月期第1四半期	0.04	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年5月期第1四半期	1,750		665		38.0
24年5月期	1,831		656		35.8

(参考) 自己資本 25年5月期第1四半期 665百万円 24年5月期 656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年5月期	—	—	—	—	—
25年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,650	△6.1	23	—	18	—	10	—	1.94
通期	3,250	△7.1	50	—	40	—	20	—	3.88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年5月期1Q	5,153,700 株	24年5月期	5,153,700 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年5月期1Q	5,598 株	24年5月期	5,598 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年5月期1Q	5,148,102 株	24年5月期1Q	5,148,602 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、景気の停滞からは回復の兆しが見られるものの、欧州諸国の金融不安に起因する円高・株安などの長期化、雇用不安など、依然先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済情勢の中、当社が主力事業としている余暇産業の業界は、ロンドンオリンピックによる夏期需要期の停滞も影響し大変厳しい状況で推移いたしました。当社は、引き続き「お客様第一主義」「重点主義」「事業構造の変革」を基本方針とし、店舗における「快適な時間と空間」を提供することに注力するとともに、各種改装、設備投資を推進してまいりました。

なお当社は、店舗における不特定多数の方を対象としたサービス業の単一セグメントであるため、当第1四半期累計期間における事業別の業績を記載いたします。

事業部門		販売高(千円)	前年同期比(%)
マルチメディア カフェ事業	直営事業	562,594	89.7
	フランチャイズ事業	8,755	74.3
	小計	571,349	89.4
カラオケ事業		218,082	98.5
その他事業		51,943	109.3
合計		841,375	92.7

① マルチメディアカフェ事業

マルチメディアカフェ事業は、直営事業及びフランチャイズ事業の合計で売上高は571百万円（前年同期比89.4%）となりました。

(直営事業)

マルチメディアカフェ直営事業は、「お客様のリクエストにお応えできる充実したサービスの提供」と「明るく開放感があり競争力のある店舗」を目指し、接客力の向上、清掃強化といったサービスの基本であるQSC教育を継続し、合わせて各種営業施策を実施してまいりました。設備投資に関しましては、電力料金の値上げに対応するため、キュービクル常時監視システムを導入し使用電力の「見える化」及びLED照明等の省エネ設備への切替を推進しました。同時にQSC向上を目的にトイレ衛生設備のリフレッシュを実施してまいりました。また、麻雀格闘倶楽部のコンバージョンキットによるバージョンアップやオンラインダーツへの入替・バージョンアップを積極的に推進いたしました。店舗数につきましては1店舗の閉店があったことにより、前事業年度末より1店舗減少した33店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は562百万円（前年同期比89.7%）となりました。

(フランチャイズ事業)

マルチメディアカフェフランチャイズ事業は、日々の営業活動から生じるロイヤルティ収入および備品販売を売上高に計上しております。店舗数につきましては、当第1四半期累計期間において変動はなく前事業年度末と同数の9店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は8百万円（前年同期比74.3%）となりました。

②カラオケ事業

カラオケ事業は、一部の地域で競争環境は厳しさを増しているものの、接客レベルを上げるQSC教育を継続してまいりました。設備投資に関しましては、最新機種の通信型カラオケ機器を全社で積極的に導入し、提供サービスの向上を図ってまいりました。店舗数につきましては当第1四半期累計期間において変動はなく前事業年度末と同数の13店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は218百万円（前年同期比98.5%）となりました。

③その他事業

その他事業として短時間で高品質なサービスを低料金で提供する美容室「イレブン・カット」を株式会社エム・ワイ・ケーとエリアフランチャイズ契約を締結し、愛知県・静岡県内に合計6店舗を運営しており、引き続き認知度を高める施策を講じてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は51百万円（前年同期比109.3%）となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は841百万円（前年同期比92.7%）となりました。一方、売上原価、販売費及び一般管理費は、全社的な経費削減活動の推進により826百万円（前年同期比92.0%）となりました。

その結果、営業利益は14百万円（前年同期比161.5%）、経常利益は10百万円（前年同期比192.5%）となりました。また、住民税の均等割等の計上により、四半期純利益は8百万円（前第1四半期累計期間は四半期純利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末より81百万円減少した1,750百万円となりました。これは主に現金及び預金104百万円の減少、有形固定資産29百万円の増加によるものです。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末より90百万円減少した1,085百万円となりました。これは主に借入金及び社債70百万円の減少、リース債務12百万円の増加によるものです。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、四半期純利益8百万円の計上により、前事業年度末より8百万円増加した665百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、景気の低迷は続くことが予想され、個人消費の回復は長期化するものと考えます。このような経済環境の中、当社はこれまでの方針を継続し、全事業で経営の効率化と経営基盤の強化安定に努めてまいります。

平成24年7月6日付「平成24年5月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	409,669	304,872
売掛金	4,407	4,748
原材料及び貯蔵品	21,296	21,122
その他	111,290	100,741
貸倒引当金	△208	△190
流動資産合計	546,455	431,294
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	598,952	613,947
リース資産（純額）	239,874	258,915
その他（純額）	64,019	59,301
有形固定資産合計	902,846	932,163
無形固定資産	4,781	4,522
投資その他の資産		
敷金及び保証金	358,004	354,960
その他	17,109	25,394
投資その他の資産合計	375,113	380,354
固定資産合計	1,282,741	1,317,040
繰延資産	2,538	2,097
資産合計	1,831,736	1,750,432

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	34,359	41,288
1年内返済予定の長期借入金	160,080	156,726
1年内償還予定の社債	70,000	40,000
リース債務	141,181	145,360
未払金	170,017	155,212
未払法人税等	13,635	4,024
賞与引当金	—	6,262
その他	57,146	35,773
流動負債合計	646,420	584,647
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	206,527	169,861
リース債務	185,219	193,082
退職給付引当金	31,351	32,431
負ののれん	541	—
その他	45,055	45,000
固定負債合計	528,694	500,374
負債合計	1,175,114	1,085,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	429,215	429,215
資本剰余金	335,167	228,444
利益剰余金	△106,722	8,623
自己株式	△727	△727
株主資本合計	656,931	665,555
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△310	△145
評価・換算差額等合計	△310	△145
純資産合計	656,621	665,409
負債純資産合計	1,831,736	1,750,432

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)
売上高	908,114	841,375
売上原価	820,342	748,858
売上総利益	87,772	92,517
販売費及び一般管理費	78,787	78,007
営業利益	8,984	14,509
営業外収益		
設備賃貸料	11,750	5,550
受取手数料	1,483	1,091
負ののれん償却額	541	541
その他	3,071	2,777
営業外収益合計	16,847	9,961
営業外費用		
支払利息	8,599	5,348
設備賃貸費用	9,611	6,711
その他	2,076	1,739
営業外費用合計	20,288	13,799
経常利益	5,543	10,671
特別損失		
固定資産除却損	1,152	403
リース解約損	198	—
特別損失合計	1,350	403
税引前四半期純利益	4,192	10,268
法人税、住民税及び事業税	1,897	1,688
法人税等調整額	2,112	△43
法人税等合計	4,010	1,644
四半期純利益	182	8,623

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年8月17日開催の定時株主総会の決議により、資本準備金を106,722千円取り崩し、その他資本剰余金に振替いたしました。また、その他資本剰余金106,722千円で繰越利益剰余金の欠損補填を行いました。この結果、資本剰余金が106,722千円減少し、利益剰余金が106,722千円増加いたしました。